

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL <http://www.syujukai.org/> E-mail ikoinosato@syujukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
編 集：季刊誌編集委員会

謹んで新年のお慶びを申し上げます

本年もどうぞよろしくお願いたします
令和6年 辰

新春号御挨拶

理事長 中村 猛

皆様、新年明けましておめでとうございます。
健やかに、明るく希望に満ちたお正月を、御家族、友人ともどもお迎えになられたことを、心からお祝い申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスの4年にわたる感染拡大や、ウクライナへのロシア侵攻からハマスのイスラエルへの侵攻と戦争が拡大し、我々人類にとって危機的な災害が刻みこまれました。平和国家としての日本も物価高から庶民生活が圧迫され、政治資金裏金の流用など、適正な政治の立て直しが喫緊の課題として緊迫した中に新年を迎えました。なかなか一寸先の未来が読めない中に、平和で豊かな社会の実現が今こそ万人が望む努力目標と思います。

年末年始の様々な伝統行事が催され、その一つ一つが究極の平和の叫び、祈りが込められているように感じます。

我々には、繰り返す戦争と平和、民主主義と独裁主義、本来の宗教のあり方、将来を担う若き世代への教育と伝承、文化の発展と文明の検証、自然との共生等々、難解にして複雑多様な諸問題が山積しております。

ふと机から窓の外に目をやると、冬支度の落葉樹からひらりと一葉が落ちていくのが見えました。若き頃愛読したアメリカ短編作家オー・ヘンリーの“最後の一片”の一編が頭に浮かびました。(末期の病床に伏した患者の寿命を現した一葉が落ちずに、それが新たな生命を呼び起こしたストーリーです。) 人生は、はかないものかもしれない。それでも“最後の一片”のように希望を捨てずに頑張りたいものです。

新しい年を迎え良き仲間を大切にその輪を拡げ、健康で少しでも社会への恩返しができる様に頑張りたいと思います。本年も変わりませず、よろしくお願致します。



中村病院としての総合力

中村病院 病院長 高橋 輝

新年明けましておめでとうございます。ここ数年翻弄された新型コロナウイルス感染症も、昨年に5類感染症へ移行し、特別な対応が不要になり新年を迎えることができました。大阪府の要請で開設したコロナ病棟も運用を終了しましたが、病院での感染対策は「通常診療」として継続するように求められており、発熱外来と一般診療との両立はまだ課題です。

今年は医療・介護の公定価格を定める診療報酬改定や、医師に対する働き方改革が始まります。高齢人口増加により医療介護を必要とする方は増えていますが、医療の担い手は減少しており、同じく働き方改革の影響を受け、路線バスの廃止が相次いでいる運送業界のようにならないかが危惧されます。

このような厳しい状況ですが、当院は各病棟の施設基準で最高の人員体制を維持しています。外来の診療体制も強化を図っており、4月からは平日午前の内科系診療を3～4室で対応できる体制になります。整形外科やリハビリで入院される患者さんにも持病があるため、内科的なサポートを強化して参ります。専門医制度も変革が進んでいますが、1つの診療科の1人の医師だけでは対応できない全人的な課題に対して、院内の各専門医が介入できる体制を強化することで総合的な医療を提供できるようにしたいと考えています。地域の「かかりつけ病院」として、本年も努力して参りますので、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中村記念クリニック・みどりの館

訪問診療での感染症対応

中村記念クリニック 院長 高橋 輝子



新年を迎え、皆様健やかな年明けを迎えられたこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症の制限がなくなっからの初めての年末年始をどのようにお過ごしになられましたでしょうか。

中村記念クリニックは昨年も外来診療は月・水・金の午前診のみとし、その他の時間は在宅や施設への訪問診療を行いました。訪問診療を行っている患者さんは、もともと移動が困難な方が多いため、新型コロナウイルス感染症が発生した時は、在宅や施設に赴いての対応が続きましたが、その頻度が減ってきているのを実感していました。一方、年末からインフルエンザの患者さんが散見されるようになってきました。新型コロナ

ウイルス感染症が流行していた間、インフルエンザの流行がなかったため、免疫を有する患者さんが減少していることが懸念されており、学校での流行は拡大しています。新型コロナウイルス感染症に対してのワクチン接種では、何度となく施設を訪れてその実施に奔走しましたが、インフルエンザワクチンの接種でも、普段訪問診療していない施設からの要請にも応えて実施しました。今年は施設での感染症クラスターが生じないような年になることを願うばかりです。外来・救急・入院診療を担当する中村病院と協力して、在宅・施設での訪問診療を担当するクリニックとして今年も頑張りたいと思います。

在宅支援

有料老人ホーム等の「住み替え」について考える

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内 康宏



新年あけましておめでとうございます。

私ども地域包括支援センター（以下包括）は高齢者の総合相談を受け付けております。

近年、特に多くなっているのは「住み替え」に関する相談です。「自宅での生活が不安だから、どこか安心できる所に移りたい」このような市民からのご相談が多くなってきました。枚方市内には、100か所を超える有料老人ホーム等が開設されていますが、まだまだ、今年においてもその数は多くなりそうです。

過日、「高齢者施設入居におけるミスマッチの解消」をテーマにしたケア会議を「松徳会」「みどり」「安心苑」の3つの包括主催にて開催しました。市内の医療機関や有料老人ホームの職員、ケアマネジャーら約70名に参加していただきました。

有料老人ホーム等への入居に際して、各種施設を紹介してくれるのが「紹介業」です。その活用率が10年前は25%だったのが現在では70%、関西においては90%と大変増えて

いるようです。市内においても、急速に増えている有料老人ホームを把握しきれていない側面があるので、紹介業のニーズは非常に高まっています。しかし、紹介業は契約関係が無い有料老人ホーム等は紹介してくれない現状もあります。

ですので、市民や医療・介護従事者は「今後、紹介業はますます大切になるので、信頼できる紹介業を探し、付き合うことが大事」であるとか、「施設との直接のコンタクトをもっと取ろう」という意見が会議の中で、述べられていました。

大切な住居の「住み替え」は、我が事とすれば、簡単にできることではありませんので、私たちに必要な心構えの一つとっております。

よりよい高齢者の総合相談の窓口となるよう、身を引き締めて、本年も業務に邁進してまいります。





なごみの里 年頭にあたり

事務長 原田 陽造

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年のはじめはコロナ感染が拡大し当施設でもご利用者・職員への感染を食い止める事ができず、皆様には大変な心労をおかけしたことは忘れることはできません。その教訓を生かし現在ではコロナ感染症については平穏となっております。しかしコロナウイルスは今なお存在しておりメディア等で公表されることが少なくなりマスクをされる方もめっきり減ってきている今日この頃です。とは言ってもまだまだコロナ感染には用心は必要です。

なごみの里・サテライトなごみの里ではコロナが5類感染症になり感染対応も少しずつではありますが緩和しつつ、なかなかコロナ渦前のような自由な出入りが出来るまでにはまだ時間はかかるかと思えます。ご利用者・ご家族の皆様には何かとご不便をおかけすることもございますが、何卒今しばらくご辛抱をお願いします。

本年度は介護報酬改定の年となっております。ニュース、

新聞紙上では介護職不足だけを伝えておりますが、介護職と言っても介護施設で業務にあたる者全体が不足しているのが現状です。その中、各種高齢者施設が増えコロナ禍の影響もありこの2年稼働減少が続く状況であります。「雲外蒼天」、困難を努力して乗り越えた先には、明るい未来があり、職員全員が一つの目標に向かう気持ちを切らすことなく努力し「不撓不屈」の強い意志をもって、どんな苦労や困難にもくじけない精神で業務にあたってまいります。介護職不足とはいえ、高齢者施設の職員として、ご利用者へのケアには誠心誠意、心を込めた業務に徹していく事が一番のサービスと考えており、なごみの里・サテライトなごみの里をご利用して頂けることに感謝し心地よい空間作りをしていく事を心がけてまいりますので、本年も何卒よろしく願い申し上げます。

また、ご高覧いただいた皆様にとって日常生活が笑顔で過ごせる一年になりますようご祈念致します。

障がい福祉サービス パラグリーン

砂栽培がスタート

管理者 山下 寿士

新年明けましておめでとうございます。

昨年5月1日の開所以来、利用者の生産体験の一環として露地栽培を始め、じゃがいもやスイカ、茄子、キュウリなど、地元農業者の指導を受けながら炎天下での水やりや草刈りなど野菜を育てる大変さを体験、また収穫や販売の楽しさなど、農業を通じて多くの学びを経験してきました。

しかし、こうした露地栽培は肥料代や道具代などの経費はもちろん天候にも左右されるなど、なかなか安定した工賃確保には繋がりませんでした。そこで維持経費が廉価で、自然災害の影響を受けにくく買い手が確定しているメリットを生かし、新たに「高床式砂栽培」を始めました。

砂栽培は土地の耕作や施肥しなくても、農床（のうしょう＝ベッド）に敷かれた砂に種を播き定植するだけで、あとはAIが室温設定や水、液肥を管理し、収穫までは太陽が育ててくれるという農業です。しかも連作が可能で、冬場でも生産活動ができるという新しい高床式農床システ

ムです。さらにベッドの高低を自在に調整できることから車椅子に座ったまま農作業ができるという利点を生かし、利用者の多くが楽しく作業できる農業を推進していきたいと考えています。



収穫した野菜を朝市で販売しています



新年のご挨拶

新年あけまして、おめでとうございます。

NHK朝の連続テレビ小説「ブギウギ」のモデルになっているのが、皆さんよくご存知の、笠置シズ子さん。戦後の日本を明るくする「東京ブギウギ」を歌って、皆の気持ちを前向きにしてくれました。

その後、三人娘の歌姫、美空ひばりさん。江利チエミさん。雪村いづみさん。男性では、御三家の、橋幸夫さん、舟木一夫さん、西郷輝彦さん。

皆さんの好きな歌手の方々を思い浮かべるのではないのでしょうか。

歌はいいですね。皆さん、ご自分の好きな歌手や歌がありますよね。

ところが落ち着いて、歌の流行った時代のご自分を思い出すのではないのでしょうか。あの頃はこうだった、楽しい思い出が一杯です。

聞くことも良いですが、歌うのもなお良いことですね。

私も、歌うのが大好きです。

歌う事は健康にも良い働きをしますよ。

特に、声を出して歌うと、体も、心も晴れるのではないのでしょうか。

今年はぜひ、皆さん試してみてください。

松樹会のスタッフは、そのような皆さんが歌を聞いたり、歌ったりできる環境をお手伝い出来ればと思っています。

そして、皆さまが、日々楽しく過ごされることを大切に考えています。

今年もスタッフ一同頑張っまいります。

なにとぞ、よろしくお願い致します。

特別養護老人ホーム いこいの里

施設長 中村 敏子



松樹会 今年の抱負

● 今だからこそ、人との「絆」を深める！

松樹会 本部 本部長 藤井 知香子

● 職員一丸となり「愛」される施設を目指します！

いこいの里藤阪 施設長 岡崎 基

● 「支」え合いのできる職場づくり

つくしんぼ長尾 施設長 守山 文子

● 楽しく明るい「憩」いのたんぼぼ藤阪に

たんぼぼ藤阪 管理者 梅村 匠

● 心身ともに、「健」やかに

ミルクィウェイ 管理者 山田 公子

● 「笑」顔で 翔け いこいの里

特養いこいの里・サテライトいこいの里 施設長代理 山田 英津子

● 「心」の声を大切に

いこいの里長尾 施設長 福田 恵太

● ご家族や地域の方々との「繋」がり大切に

つくしんぼ藤阪 施設長 坊 晃子

● みんなが笑って「楽」しく過ごせるたんぼぼ田口に

たんぼぼ田口 管理者 福本 悦子



各施設連絡先

● 医療法人 みどり会 ●

中村病院 072-868-2071
 中村記念クリニック 072-868-2070
 介護老人保健施設 なごみの里 072-868-2072
 サテライトなごみの里
 デイサービス 長尾の里 072-818-2071
 有料老人ホーム みどりの館 072-868-2727
 グループホーム たんぼぼ長尾 072-868-2195
 ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
 訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
 地域包括支援センター みどり 072-845-2002
 障害福祉サービス パラグリン 072-867-3377
 研修所 みどりの樹 0264-44-2550

● 社会福祉法人 松樹会 ●

特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
 デイサービスセンター いこいの里
 サテライトいこいの里 072-849-2210
 特別養護老人ホーム いこいの里藤阪 072-868-2192
 特別養護老人ホーム いこいの里長尾 072-868-1893
 ケアハウス つくしんぼ長尾 072-868-2190
 デイサービスセンター 長尾
 ケアハウス つくしんぼ藤阪 072-868-2191
 グループホーム たんぼぼ藤阪 072-868-2197
 グループホーム たんぼぼ田口 072-898-2193
 小規模多機能ホーム ふじ 072-868-2193
 看護小規模多機能ホーム ながお 072-868-1894
 障害福祉サービス ミルクィウェイ 072-867-5690

ルーク山田眼科 072-868-0880

